

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
音楽	27・教芸 小学生の音楽	<p>○表紙は、学年が上がるにつれて、人数が増えていく子どものイラストが描かれ、児童が協働しながら音楽を学んでいくことや音楽への探究心を大切に工夫が見られる。また、様々な国籍の子どものイラストが描かれており、ダイバーシティの実現に向けた工夫も見られる。</p> <p>○全学年においてスタート時のオリエンテーション的な題材が取り上げられており、友達と心をひとつにして歌声を合わせる喜びを味わえるような工夫が見られる。</p> <p>○わらべ歌、お囃子や民謡が児童の発達段階に合わせて教材化されており、口唱歌などの体験的な活動を通して、我が国や郷土の音楽に愛着がもてるよう工夫されている。</p> <p>○登場する子供とキャラクターが、それぞれの学習内容に応じて表情やしぐさを変えたり、吹き出しの言葉で創意工夫のポイントを示したりして、主体的、協働的な学びを引き出す工夫が見られる。</p> <p>○学習活動（活動文）が「考える」「見つける」「歌う」などのアイコンで示され、児童が「何を学ぶか」「何ができるようになるか」を明確にして主体的に学習を進められるようになっている。</p> <p>○音楽を形づくっている要素を中心に各教材を結びつけた題材構成で、題材のねらいに沿って生活や社会と関連性をもった教材が配列され、6年間を通して系統的に学びがつながる題材構成となっている。各題材は、各学年の発達段階を考慮した無理のないステップで学習を積み重ねていくという特色がある。</p> <p>○二次元コードが各教材に掲載され、学習に役立つ動画や音声を視聴、閲覧することができ、タブレット端末を活用して学びを広げたり深めたりすることができるよう工夫されている。</p> <p>○楽譜や歌詞、活動文について、無地や単色の部分にUDフォントで配置する等、読みやすくなるような工夫が見られる。また、イラストの色調を工夫する等、特別支援教育の視点に立った配慮が見られる。</p>